



◆NEWS◆ 農林水産省「農地除染対策実証事業の結果（中間取りまとめ）  
及び農地除染対策の技術書」を公表!!（8月31日）

農林水産省は8月31日、農地除染の適切かつ効率的な実施に資するため、これまでに開発された農地の除染技術を工事実施レベルで実証する「農地除染対策実証事業」の結果の中間取りまとめを行いました。

また、同実証事業の結果を踏まえ、「作業手順」、「施工管理方法」等の情報を「農地除染対策の技術書」としてとりまとめました。

この実証事業の事業概要等は以下のとおりです。

■ 農地除染対策実証事業の概要

○目的：

東日本大震災に起因して発生した東京電力福島第一原子力発電所事故は、広範囲にわたる土壌を汚染し、営農活動に対して多大な影響を及ぼしています。

このような状況を踏まえ、農林水産省では放射性物質が含まれる農地の除染技術の開発を行っています。

その結果を踏まえ、開発された除染技術を工事実施レベルで実証し、作業手順や安全な作業工程、除染効果等を検証し、現地で適用可能な対策工法を確立します。

○実施期間：平成24年2月から実施中。

■ 農地除染対策実証事業の結果の概要（中間取りまとめ）

「農地除染対策実証事業」では、福島県飯舘村及び川俣町の40ヘクタールの農地を対象に、表土削り取りなどの農地除染技術の実証工事を行い、今後の除染作業における施工方法、施工管理方法、安全衛生管理方法及び作業歩掛に関する基礎データを収集しました。

また、除染の効果を確認するため、除染実施前後における農地の放射性セシウム濃度や空間線量率を確認しました。

これまでの結果は、表土削り取りによって、作土層の放射性セシウム濃度は7割から9割程度減少し、地表1メートルの空間線量率は6割から8割程度減少しました。

■ 「農地除染対策の技術書」の概要

本技術書は、実証工事の結果に基づき、農地除染実施に当たり必要となる調査、設計、積算、施工管理等の情報を取りまとめたものです。

「調査・設計編」、「施工編」、「積算編」、「参考資料編」の4編で構成されます。（「積算編」及び「参考資料編」は後日取りまとめて順次公表します。）

今回公表した技術書の概要は以下のとおりです。

○調査・設計編

調査・設計編は、農地除染工事に着手するに当たり必要な事前調査の内容、放射性物質の測定方法、農地除染工事の区域設定や工期設定の考え方、実証工事で実施された対策工法の概要及びその設計の考え方などについて記載したものです。

○施工編

施工編は、各対策工法の手順、施工方法、施工上の留意点、施工管理方法や、基本的な準備工、仮設工等について、工種、作業項目ごとに記載したものです。

詳しくは、農林水産省のホームページをご覧ください。  
<http://www.maff.go.jp/j/press/nousin/noukan/120831.html>

■「農地除染対策実証事業の結果」及び「農地除染対策の技術書」について  
<http://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/josen/index.html>

---

◆NEWS◆ 中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業（5次）の採択事業を「追加決定」しました！！（8月31日）

---

中小企業庁は8月31日、中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業について、福島県の4次の追加採択事業を公表しました。

福島県につきましては、5月1日から5月31日まで公募を実施し、福島県の復興事業計画審査会、国の補助事業審査委員会の審査を経て、8月31日に追加的な採択を行うべきとされた5グループの事業を採択、補助総額で9億円の交付を決定しました。

今回の追加決定では、いわき市南部の(株)クレハいわき事業所を中核として、その操業に不可欠な高度専門技術を有する16者からなり、リチウムイオン電池用材料など新成長分野における共同技術開発等を目指す「クレハいわき事業所グループ」などが認定されました。

詳しくは中小企業庁のホームページをご覧ください。  
<http://www.meti.go.jp/press/2012/08/20120831006/20120831006.html>

---

◆NEWS◆ 「食品と放射能Q&A」を改訂しました（8月31日）

---

消費者庁では、食品の安全と放射能に関し、消費者の皆さんが疑問や不安に思われていることを分かりやすく説明した「食品と放射能Q&A」を作成しています。

平成24年4月から、食品中の放射性物質の新しい基準値が4つの食品区分ごとに設定されたところですが、この度、4つの食品区分のうち「乳児用食品」についての表示基準を策定したことに関連したQ&A等を追加するとともに、最新の現状を踏まえた改訂を行い、8月31日付け最新版として公表しました。

（追加項目）【〔 〕内のページは改訂版のQ&Aの掲載ページ】

- 乳児用食品の見分け方について [P.16]
- 野菜、果物、茶及び栽培されているきのこ類の放射性物質検査結果の状況等について [P.20]
- 山菜の放射性物質検査結果の状況等について [P.34]

詳しい内容につきましては、消費者庁ホームページをご覧ください。  
<http://www.caa.go.jp/jisin/index.html#m024>

---

◆おしらせ◆ 食品と放射性物質に関する説明会を全国で開催中！！  
（9月、10月の開催日程を更新）

---

消費者庁では、関係省庁、地方自治体等と連携して、全国各地で、食品中の放射性物質についての説明会（リスクコミュニケーション）等を開催しています。

先月までにお知らせした開催日程から、追加で説明会を行う場所が決まりました。

今後の開催日程は次のとおりです。開催時間、会場などの詳細につきましては、問い合わせ先（括弧内）までお願いします。

■開催日程等

9月11日(火)	京都府京都市：各府省庁が京都府等と連携して開催 (京都府食の安心・安全推進課	075-414-5654)
9月14日(金)	埼玉県上尾市： (埼玉県消費生活支援センター	048-261-0930)
9月18日(火)	新潟県新潟市： (新潟県消費生活センター	025-281-5516)
9月26日(水)	高知県高知市：各府省庁が高知県等と連携して開催 (高知県食品・衛生課	088-823-9672)
9月28日(金)	広島県広島市： (広島消費者協会	082-225-3320)
10月14日(日)	福島県二本松市： (二本松市健康増進課	0243-55-5110)
10月17日(水)	千葉県君津市： (君津市市民生活課	0439-56-1483)
10月20日(土)	東京都杉並区： (杉並区生活衛生課	03-3391-1991)
10月24日(水)	青森県八戸市： (八戸市商工政策課	0178-43-9524)
10月25日(木)	大阪府泉佐野市： (泉佐野市商工労働観光課	072-463-1212)
10月26日(金)	千葉県習志野市： (習志野市協働まちづくり課	047-451-1151)
10月30日(火)	福島県二本松市： (二本松市健康増進課	0243-55-5110)
10月31日(水)	福島県二本松市： (二本松市健康増進課	0243-55-5110)

最新の情報は、消費者庁のホームページをご覧ください。

[http://www.caa.go.jp/jisin/r\\_index.html](http://www.caa.go.jp/jisin/r_index.html)

=====  
☆☆「ふれあいニュースレター」バックナンバーのご案内☆☆

[http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/kinkyu.html#info\\_fureai\\_letter](http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/kinkyu.html#info_fureai_letter)  
=====

[発行：政府原子力被災者生活支援チーム]